



No.89

浄化槽 にいがた

2015年1月27日 発行
発行 一般社団法人新潟県浄化槽整備協会
発行責任者 会長 佐野 忠之
事務局 新潟市中央区新光町15-2
TEL (025) 283-2048
FAX (025) 283-2085
URL <http://www.njsk.server-shared.com/>

新年のご挨拶 佐野会長／佐藤廃棄物対策課長P 1
第2回理事会・浄化槽総合管理協議会 ・全浄連北陸地区協議会P 2
県との意見交換会P 3
研修会・講習会の開催P 4
新潟市環境フェア参加 ・自民党県支連合会への要望P 5
法定検査管理協議会P 6
新潟県の浄化槽について／県廃棄物対策課P 7
都道府県構想策定マニュアルについてP 8
環境省27年度浄化槽推進関係予算（案）P 9
支部活動紹介 与板支部／十日町支部P 10
事務局からのお知らせP 11



春一番・雪さらし

(写真提供：公益社団法人 新潟県観光協会)

新年のご挨拶



一般社団法人 新潟県浄化槽整備協会
会長 佐野 忠之

新年あけましておめでとうございます。謹んで平成27年の年頭のご挨拶を申し上げます。

協会の運営につきましては、会員の皆様をはじめ行政及び関係団体からご理解とご協力をいただき厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、30年ぶりとなる日本環境整備教育センター主催の「浄化槽設備士講習」の開催や20年ぶりとなる「浄化槽技術管理者講習会」を開催し、会員のほか県外からも多くの方から参加いただきました。浄化槽業務従事者研修会については、新潟、長岡、上越、佐渡の4会場で開催し、多くの会員の皆様から受講いただきました。今後とも会員ニーズの把握に努めながら、研修会・講習会事業の充実に努めてまいります。

さて、本県の汚水処理人口普及率は84%を超える水準となっておりますが、未だに37万人余の方々が汚水処理施設を利用できない状況です。このような未普及地域の多くが人口減少や高齢化の進む農山村地域であることから、このような地域特性を踏まえた汚水処理施設整備が求められているところです。

浄化槽は、「環境に優しく、財政にも優しい、かつ地震にも強い」生活排水処理施設であり、汚水処理施設の未普及地域の早急な解消を図る上で浄化槽への期待はますます高まっています。

国では、昨年1月に3省連携による都道府県汚水処理施設整備構想の見直しのためのマニュアルを策定し、各都道府県に対して、汚水処理施設整備構想の見直しを要請したところです。本県においても、新潟県汚水処理施設整備構想や市町村生活排水処理計画の見直し作業が進められるものと期待されます。

当協会としましては、「浄化槽シンポジウム」の開催などを通じて、浄化槽の普及・啓発とともに浄化槽による未普及地域解消を働きかけていきたいと考えております。

最後になりますが、本年も協会の役員、会員並びに関係者の皆様の益々のご発展とご活躍をご祈念申し上げますとともに、当協会へのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶



新潟県県民生活・環境部廃棄物対策課
課長 佐藤 武幸

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人新潟県浄化槽整備協会の皆様におかれましては、平素より浄化槽行政の推進に対し、格別の御理解と御協力を賜り深く感謝します。

貴協会におかれましては、浄化槽の「整備促進」と「適正な維持管理」を通じ、県民の皆様の快適で衛生的な生活の確保に、日々御尽力いただいていることに対し、深く敬意を表します。

まず、浄化槽をめぐる動向について申し上げます。

環境省では、平成27年度の循環型社会形成推進交付金（浄化槽分）として今年度と同額の総額8,421百万円の予算措置を予定しております。

県内の浄化槽の設置基数は減少しているものの、合併処理浄化槽の設置基数は、平成25年度末で50,582基と前年度から1,401基増加し、合併処理浄化槽への転換が進んできております。

県といたしましては、国の動向も踏まえ、浄化槽整備の主体である市町村と連携・協力し、必要な予算の確保、普及啓発等の取組を推進してまいります。

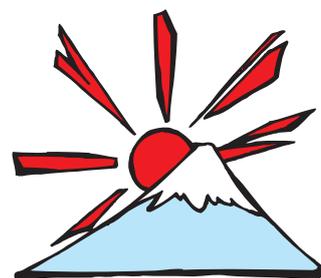
次に、法定検査の状況について申し上げます。

本県の11条検査の受検率は、平成25年度で70.8%と、全国の33.4%（平成24年度）を大きく上回る水準を維持しており、これは皆様方の努力の賜と感謝申し上げます。

しかしながら、未だ3割は未受検となっており、県では、県民の皆様の法定検査への理解に向けた啓発や督促等の取組を拡大するとともに、法定検査制度の信頼性向上に向けた諸懸案事項への対応を関係者と連携して推進してまいります。

皆様におかれましても、浄化槽の普及促進とその信頼性確保に向け、引き続き御尽力いただきますようお願い致します。

終わりに、皆様方の益々の御健勝と御発展を祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



第2回理事会開催

開催日 平成26年8月28日(木)

場所 東映ホテル 2階「朱鷺の間」

理事数29名、出席理事17名にて平成26年度第2回理事会が開催されました。

第1号議案 平成26年度事業及び予算執行状況

第2号議案 部会委員(補欠)の選任について
理事 成田 学 氏

以上について審議が行われ承認されました。

また、以下の報告が行われました。

- ・平成26年度浄化槽業務従事者研修会について
- ・平成25年度各支部の事業・決算状況について
- ・県汚水処理施設整備構想の見直しについて
- ・県浄化槽法定検査制度の課題検討 ほか

新潟県浄化槽総合管理協議会

開会にあたり猪俣副会長が挨拶を行い、議題としては、事業報告と決算、事業計画と予算それに空席となっている会長の選任に係る議案について審議が行われ承認されました。

第1号議案及び第2号議案

平成25年度事業報告及び収支決算

第3号議案及び第4号議案

平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)

第5号議案 会長(補欠)の選任について

残任期間(補欠)の後任会長に全員一致で佐野忠之氏を選任しました。

北陸地区協議会各県会長会議開催



佐野協議会長あいさつ

平成26年11月27日(水)氷見市「うみあかり」において、来賓に全国浄化槽団体連合会専務理事の伊藤英紀氏をお招きし、富山・石川・福井・新潟の各県会長が参加して「全国浄化槽団体連合会北陸地区協議会各県会長会議」が開催されました。

佐野会長の挨拶で始まり、伊藤全浄連専務理事よりの来賓あいさつに引き続き全浄連における最近の動向について講演をしていただきました。

- ・平成25年度決算及び事業報告について
- ・平成26年度事業及び予算(報告)について
- ・平成27年度事業計画及び予算(案)について
- ・情報交換

- ア 各県協会の浄化槽台帳の管理状況について
- イ 浄化槽機能保証制度について
- ウ 単独から合併への転換対策について ほか

人と水を技術でつなぐ——マエザワ

Cの系譜
Second Generation

既設単独浄化槽の合併化に大きく貢献します

マエザワ浄化槽 VRC II
5人槽・7人槽

放流水質 BOD:15mg/L T-N:20mg/L SS:10mg/L
沈殿分離・嫌気ろ床・好気循環方式

■北関東支店 〒950-0088 新潟市中央区万代4丁目1番11号
新潟営業所 太陽生命新潟ビル9階
☎025-248-1400 FAX.025-248-1414
<http://www.maezawa-k.co.jp/>

前澤化成工業株式会社

平成26年度

県との意見交換会を開催

平成26年度の県との意見交換会が、8月28日午後3時半より「新潟東映ホテル」2階朱鷺の間にて開催されました。

新潟県からは、佐藤課長・小林課長補佐・陶山係長・児玉主任の4名の方に出席いただき、協会からは会長他17名が出席し、行政からの説明、当協会の要望に対しての意見交換、質疑応答を行いました。

行政説明については、市町村別浄化槽設置基数及び浄化槽法定検査の実施状況の推移、新潟県汚水処理施設整備構想について、新潟県の浄化槽法定検査について等の説明がなされました。

1. 汚水処理人口の普及状況

平成25年度末の新潟県数値

普及率 84.7% (前年比 1.0ポイント増加)

内訳	下水道	71.5%
	集落排水施設	7.8%
	合併浄化槽	5.4%

県内市町村別状況

汚水処理人口普及率上位

粟島浦村・弥彦村・聖籠町・魚沼市・胎内市

合併浄化槽普及率上位

刈羽村・三条市・田上町・五泉市・佐渡市

2. 新潟県汚水処理施設整備構想の進捗状況について

平成25年度末の汚水処理人口普及率は、H26.7.31に公表したところ。浄化槽については、汚水処理施設整備構想で掲げるH25の中間目標5.6%に対して、5.4%と目標に達していない状況。合併処理浄化槽の普及促進に努めていきたい。

	H19 実績		H25 中間目標		H30 目標	
	処理人口	普及率	処理人口	普及率	処理人口	普及率
行政人口	2,413,103	100.0%	2,324,977	100.0%	2,241,460	100.0%
汚水処理	1,850,585	76.7%	1,989,462	85.6%	2,040,783	91.0%
下水道	1,516,239	62.8%	1,649,932	71.0%	1,708,120	76.2%
その他集合処理	211,648	8.8%	209,234	9.0%	199,467	8.9%
合併処理浄化槽	122,698	5.1%	130,296	5.6%	133,196	5.9%
未普及	562,518	23.3%	355,515	14.4%	200,677	9.0%

3. 新潟県の法定検査実施状況について

新潟県の実施状況

	検査対象基数	検査実施		検査結果		
		実施基数	実施率%	不適合基数	適合率%	
7条検査	H24年度	2,116	1,989	94.0	127	93.6
	H25年度	2,110	1,874	88.8	84	95.5
11条検査	H24年度	204,828	144,754	70.7	1,789	98.8
	H25年度	200,242	141,739	70.8	1,848	98.7
合計	H24年度	206,944	146,743	70.9	1,916	98.7
	H25年度	202,352	143,613	71.0	1,932	98.7

4. 県に対する要望・回答

要望 単独から合併処理浄化槽への転換促進について

回答 単独から合併への転換については、転換へのインセンティブが働きにくい状況であることから、当法律の成立も踏まえながら、浄化槽管理者の水環境保全に係る普及啓発、市町村への国の補助制度活用を勧めていきたい。

要望 浄化槽法定検査について

回答 平成18年に効率化11条検査を開始して以来、8年が経過し、社会的な状況も変化してきたことから、法定検査制度について料金も含め見直しする時期にきていると考えている。法定検査については、受検の徹底、管理者指導、検査方法、精度管理などについて課題となっていることから、法定検査管理協議会で協議しながら検討を進めたい。検査制度の課題について協議した後、来年度末の検査機関更新のタイミングでの料金改定を目指す。未受検者対策については、モデル事業の結果を参考としながら、地域の実情にあった手法により、各地域行政機関主導での取り組みを進める。具体的には、①未受検者・未管理の状況把握（台帳精査）、②未受検者・未管理浄化槽への指導（維持管理指導、検査制度周知、督促、個別指導）という手段を想定している。

要望 県から市町村への権限委譲の支援について

回答 昨年度から浄化槽担当職員向けの研修会を開催している。権限委譲市町村に対しても担当職員の資質向上を継続的に図っていきたいと考えている。貴協会からも協力を願います。

要望 浄化槽市町村整備推進事業の促進について

回答 市町村整備推進事業は、維持管理の効率化も期待出来ることから、主な市町村で構成する浄化槽推進協議会やその他市町村との会議で活用を勧めている。単独浄化槽から合併浄化槽への転換が進まないように設置基数が伸び悩む市町村がある。浄化槽管理者への普及啓発を進めていきたい。



平成26年度研修会を開催 「浄化槽業務従事者研修会」

浄化槽の適正な施工及び維持管理を確保するため浄化槽業務従事者を対象として、専門技術や関係法令等に関する研修会を開催しました。(県補助事業)

新潟会場

日時 平成26年11月12日(水)
会場 新潟県トラック総合会館 6階
研修内容

- 「新潟県の浄化槽について」
新潟県県民生活・環境部 廃棄物対策課
- 「浄化槽の施工技術と留意点について」
一般社団法人 浄化槽システム協会
- 「水質測定器の保守点検について」
笠原理化工業 株式会社
- 「小型浄化槽の構造と保守点検・清掃のポイント」
一般社団法人 浄化槽システム協会

出席者 75名

佐渡会場

日時 平成26年11月21日(金)
会場 佐渡市「浦島」
研修内容

- 「浄化槽の施工技術と留意点について」
 - 「小型浄化槽の構造と保守点検・清掃のポイント」
一般社団法人 浄化槽システム協会
 - 「佐渡市浄化槽事業について」
佐渡市上下水道課
- 出席者 31名



業務従事者研修会(新潟会場)



業務従事者研修会(佐渡会場)

浄化槽技術管理講習会の開催

浄化槽技術管理者を育成するため、日本環境整備教育センターから浄化槽技術管理者講習会に関する事務事業を受託し開催しました。

日時 平成26年9月24日～26日
3日間
会場 燕三条地場産業振興センター5階
受講者数 77名
修了者数 68名

業界シェアNo.1 業界NO.1の省スペース&浅埋統一型浄化槽

次世代環境配慮型浄化槽

フジクリーンCFII型

5・7・10人槽

評判のCF型進化形

2011年度優良賞受賞
2012年度優良賞受賞
フジクリーンCFII型

単独から合併への転換対応浄化槽CFシリーズ

既設単独浄化槽の合併転換に対応

- 場所をとらない省スペース・浅埋型(高さ1,530mm)だから単独浄化槽からの転換もスムーズ。従来品(CE-5)に比べ設置面積約73%。
- 流入管底280mm、放流管底330mmのレイアウトフリー設計で設置エリアの自由度が広がります。
- 従来品(CE-5)に比べ、残土処分量は約70%。

水環境改善に貢献する高度処理

- BOD15mg/ℓ以下 S S10mg/ℓ以下 T-N20mg/ℓ以下 (財)日本建築センターによる性能評価値
- BOD15mg/ℓ以下は下水道放流水質基準と同程度です。

低炭素化社会の構築に寄与

- 環境省の省エネ基準をクリアした高機能プロワ搭載。
- 製造から施工までのCO₂排出量は従来品(CE-5)に比べ約80%。

小さい魚見つけた

子供たちが水まみれ
泥まみれになつて遊ぶことのできる、
生物にあふれた小川や
水辺の回復を目指します。

美しい水を守る

フジクリーン工業株式会社

新潟営業所/新潟県新潟市東区大形本町5-12-32 〒950-0813 ☎(025)271-8668
本社/名古屋市千種区今池四丁目1番4号 〒464-8613 ☎(052)733-0325
支店・営業所/全国37ヶ所 <http://www.fujiclean.co.jp/>

(5人槽イメージ)

放流水質

BOD 15mg/ℓ以下
S S 10mg/ℓ以下
T-N 20mg/ℓ以下

(財)日本建築センターによる性能評価値

「平成26年度新潟市環境フェア」に出展

平成26年度新潟市環境フェアが10月5日（日）に新潟市万代シティ通りを会場として開催され、新潟市浄化槽協会と共同出展をし、環境にやさしい浄化槽の普及に努めました。約300名の来場者があり、194名からアンケートに答えていただきました。

出展内容

1. ニッコー(株)のカットモデルの展示
2. 各種パネルの展示
3. パンフレットの配布



信越環境サービスが糸魚川市下水道フェアに出展

平成26年10月11日（土）、糸魚川市の「糸魚川浄化センター」において、「糸魚川市下水道フェア」が開催され、糸魚川地区の（資）信越環境サービスが、ニッコー(株)の協力を得て出展し、浄化槽の普及活動を行いました。



自由民主党2団体に要望書提出

◎自由民主党新潟県支部連合会への要望

平成26年11月13日に新潟県議会庁舎2階の自民党会議室において、佐野会長、島影副会長及び大岩事務局長が出席し、自民党県支部連合会へ県補助金確保等の要望を行いました。

要望事項

1. 新潟県浄化槽整備協会補助金の確保について
 - 講習会・研修会の開催及び普及啓発等事業に対する補助
2. 浄化槽適正管理推進事業委託費の確保について
 - 法定検査未受検者及び保守点検未契約者に対する指導に係る委託



◎自由民主党新潟市議会議員連盟への要望

平成26年10月17日にホテルオークラ新潟において、自民党新潟市議会議員連盟と業界団体との合同意見交換会が開催されました。当協会からは、新潟市浄化槽整備事業（公設）の推進等の要望を行いました。

要望事項

1. 新潟市浄化槽整備事業（公設）の推進
2. 浄化槽設置整備事業（個人設置）の予算の充実
3. 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に係る普及啓発の充実等

きれいな水を残したい...

これが **当社の願い** です。

銘柄	内容・容量	効 能	使用法・使用量（バッキン投入）
スーパー バラット SS	7kg 1箱15kg入 1箱15kg入	新しいタイプのバクテリアが、強力に悪臭をカットし、悪臭（臭酸等）や、悪臭病・高濃窒素などで機能が低下している浄化槽を回復させます。オールマイティタイプの悪臭防止機能回復剤です。	●機能回復 悪臭防止 5~40kg/㎡投入 ●維持管理 浄化促進 1ヶ月ごとに5~10kg/㎡投入
スーパー バラット SR	10kg 1箱15kg入 1箱15kg入	分解能力の優れた微生物を多種類配合しており、維持管理として最適です。	●機能回復 悪臭防止 初期 150~200kg/㎡投入 ●維持管理 浄化促進 1ヶ月ごとに100~200kg/㎡投入
バラット TS	8kg 1箱15kg入 1箱15kg入	分解能力の優れた微生物を多種類配合しており、維持管理として最適です。	●維持管理 5~50人暮らし/㎡ 5人暮らし以上 4~5kg/㎡ ●浄化促進 3ヶ月ごとに3~5kg/㎡
バラット TR	10kg 1箱15kg入	また、維持管理として定期的に使用しますと、浄化を促進します。	●維持管理 150~300kg/㎡ ●浄化促進 3ヶ月ごとに50~100kg/㎡
バラット KS	8kg 1箱15kg入 1箱15kg入	活性の低下したバクテリアによってかわらなくなった悪臭、悪臭を発生して浄化機能を低下させ、有害微生物の防止、水質悪化を防ぎます。	●機能回復 悪臭防止 初期 150~200kg/㎡ ●維持管理 150~200kg/㎡ ●浄化促進 3ヶ月ごとに50~100kg/㎡
バラット KR	10kg 1箱15kg入	バクテリア等、活性の低下に対して、正常なバクテリアを育成させる事により、根本的に改善します。	●浄化槽 200~300kg/㎡ 1ヶ月ごとに300~400kg/㎡ ●大生浄化槽 初期 200~300kg/㎡ 1ヶ月ごとに50~80kg/㎡
バラット BR	10kg 1箱15kg入	投入と同時に不快感を速やかに分解・脱臭します。	●浄化槽 1ヶ月ごとに2~3回 ●大生浄化槽 1ヶ月ごとに2~3回 ●浄化槽 1ヶ月ごとに50~80kg/㎡
バラット NA	12kg 1箱15kg入 1箱15kg入	汲み取りトイレの悪臭及び不快臭を脱臭。	●浄化槽 1ヶ月ごとに50~80kg/㎡ ●大生浄化槽 1ヶ月ごとに50~80kg/㎡
バラット CL	20kg×12箱入 1箱15kg入	汲み取りトイレの悪臭及び不快臭を脱臭。	●浄化槽 1ヶ月ごとに50~80kg/㎡ ●大生浄化槽 1ヶ月ごとに50~80kg/㎡



スーパーバラットくん

取扱品目

- 各種水処理機器
- 各種水中・陸上ポンプ
- 浄化槽ブロー
- 浄化槽維持管理剤等

水処理機器並びに関連薬品の総合商社

株式会社 日環商事

本 社 〒920-0333 石川県金沢市無量寺5丁目75番地
TEL(076)-268-1771(夜) FAX(076)267-5348
四国営業所 〒769-0103 香川県高松市国分寺町福家甲196番地1-101
TEL(087)813-7821 FAX(087)813-7011
九州営業所 〒812-0892 福岡県福岡市博多区東里町2-14-33-803
TEL(092)483-7288 FAX(0120)517-718

クロスチェック委員会の開催

平成26年10月14日（火）に平成26年度第1回クロスチェック委員会が開催されました。委員会においては、平成25年度下期の「採水員適正点検調査結果」及び「2次検査実施状況調査結果」の報告と審査が行われました。

なお、採水員適正点検調査は、希釈倍率検査（塩化物イオン濃度検査）により実施されています。

平成25年度の上期を加えた年間の各調査結果は、下記のとおりです。

表1 塩化物イオン濃度検査の経年変化

年度	検査数	不 件 数	不可 の 割 合	清掃直後の 採水件数	同左の 割 合
H18	129,672	403	0.31%	42	0.03%
H19	127,145	143	0.11%	12	0.01%
H20	120,495	152	0.13%	21	0.02%
H21	114,434	149	0.13%	8	0.01%
H22	109,348	197	0.18%	8	0.01%
H23	104,288	236	0.23%	5	0.00%
H24	101,123	185	0.18%	2	0.00%
H25	96,463	166	0.17%	2	0.00%

表2 2次検査実施状況調査結果（25年度）

区 分	上 期	下 期	合 計
11条検査実施数	68,317	62,578	130,895
11条検査不適数	511	655	1,166
2次検査実施数	511	655	1,166
2次検査未実施数	0	0	0

実務委員会の開催

平成26年11月5日（水）に平成26年度第1回実務委員会が開催されました。平成23年1月21日以来の開催となります。

県廃棄物対策課から、浄化槽に係る懸案事項についての説明と、今回の実務委員会においては、クロスチェックのうち現場確認検査の手法の確立というテーマに絞り込んで協議をしたい旨の説明がありました。

また、検査手数料の見直しについても別途に検討・協議を進めたい旨の説明がありました。

○浄化槽に係る懸案事項

- ①法定検査の受検率の向上（未受検者対策）
- ②検査結果を活用した浄化槽管理者への事後指導
- ③21人槽以上の浄化槽11条検査へのBOD検査導入
- ④クロスチェック等の実施
- ⑤単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換
- ⑥維持管理に係るサービス水準の維持・向上

表3 浄化槽法定検査手数料の変遷（11条検査）

人 槽	H14以前	H14改正	H18.2改正
5から 10	5,000	5,000	3,700
11から 20	7,000	8,600	3,700
21から 50	7,000	8,600	8,600
51から 200	11,000	12,600	12,600
201から 500	14,000	16,000	16,000
501から2,000	18,000	18,800	18,800
2,001以上	21,000	22,000	22,000

※平成14年以降、効率化11条検査分を除き検査手数料は据え置き

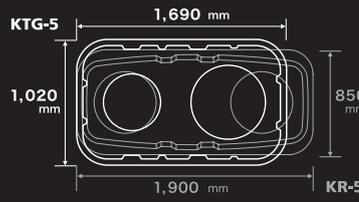


Living with ideas

単独処理浄化槽の合併転換を容易にするスペックを実現。

ハイバッキー-KTG型

▶ 5人槽は単独処理浄化槽と同等の設置スペース



▶ 施工性を向上させる流入管底 300mm / 放流管底 350mm (共にG.L.より)

▶ 従来品より全高を約 205mm 抑え、軽量化を実現

処理性能：BOD15mg/L以下 T-N20mg/L以下 SS10mg/L以下

●処理性能は各々日間平均値です。●流入水質：BOD200mg/L以下 T-N45mg/L以下 SS160mg/L以下

●処理性能は、(財)日本建築センタ一性能評価方法現場試験【試験期間1年間】による評価値です。

■ KTG-5型 ■
単位：mm



流入管底：300 (G.L.より)
放流管底：350 (G.L.より)

G.L.より
H:1,555 (全高:1,585)

L:1,690 W:1,020

株式会社 ハウステック

お問い合わせ先 (新潟県)
新潟営業所 TEL (025) 243-3771

長岡営業所 TEL (0258) 21-2011

www.housetec.co.jp

県内の汚水処理と浄化槽整備事業の実施状況

新潟県県民生活・環境部廃棄物対策課

汚水処理人口普及率

下水道、集落排水、浄化槽等の汚水処理施設の整備状況をあらかず汚水処理人口普及率の平成25年度末の実績は県全体で84.7%と前年度実績と比べて1.0ポイント増、うち浄化槽は5.4%と前年度と同水準となっており、汚水処理人口普及率は年々増加しています。

浄化槽整備事業の実施状況

浄化槽整備における市町村事業としては、設置した個人に補助金を交付する「個人設置型」と市町村自らが整備を行う「市町村設置型」があり、現在、個人設置型は19市町、市町村設置型は6市が実施しています。また、一部市町では単独処理浄化槽の撤去費用も対象としているところ です。

なお、平成25年度の整備実績（全県）は、個人設置型で555基、市町村設置型で118基、計673基となっ

ています。

単独処理浄化槽からの転換も含め、効果的な浄化槽の整備が図られるよう、国の補助事業の動向等も注視しつつ、市町村と連携・協力してまいります。

浄化槽に係る立入検査等について

県では、法定検査結果が不適正、法定検査未受検者、未管理浄化槽、苦情のあったものなどを対象に立入検査を実施しており、平成25年度は102件実施しました。

浄化槽保守点検業者に対しては、登録更新時等に立入検査を実施しており、平成25年度は10件実施しています。

また、今年度は、5年更新である浄化槽保守点検業者の大量更新年に当たります。登録有効期限を確認し、有効期限の2カ月前から1カ月前の間に更新手続きをお願いします。

浄化槽整備事業の実施状況（平成25年度）

市町村名	汚水処理人口普及率				浄化槽整備事業実施の有無		浄化槽整備事業における整備実績	
	H25実績				H26.9.1現在		H25実績（基）	
	全体	下水道	集落排水	浄化槽	個人設置型	市町村設置型	個人設置型	市町村設置型
新潟市	85.1%	82.8%	0.8%	1.6%	○	○	138	41
長岡市	96.8%	90.2%	4.5%	2.2%	○	○	63	—
三条市	49.8%	18.4%	9.8%	21.5%				
柏崎市	97.7%	68.8%	22.2%	6.8%	○		13	
新発田市	60.3%	41.9%	11.4%	7.0%	○		18	
小千谷市	98.7%	81.6%	13.6%	3.5%	○		4	
加茂市	72.8%	66.9%	0.0%	5.9%	○		10	
十日町市	93.2%	74.8%	14.0%	4.4%		○		15
見附市	93.1%	83.2%	8.2%	1.7%	○		1	
村上市	98.6%	72.4%	20.3%	5.9%	○		3	
燕市	56.2%	45.1%	0.0%	11.1%				
糸魚川市	94.7%	80.8%	7.3%	6.6%	○	○	—	41
妙高市	86.1%	66.6%	13.7%	5.8%	○		23	
五泉市	70.4%	57.0%	0.0%	13.4%	○		91	
上越市	84.4%	56.9%	17.8%	9.7%	○		71	
阿賀野市	88.4%	72.2%	13.2%	3.1%	○	○	97	—
佐渡市	75.7%	61.4%	2.9%	11.4%	○		2	
魚沼市	99.7%	79.4%	19.5%	0.7%	○		2	
南魚沼市	97.6%	73.1%	19.8%	4.7%		○		21
胎内市	99.5%	66.1%	32.3%	1.1%	○			
聖籠町	99.7%	99.6%	0.0%	0.1%				
弥彦村	99.9%	99.8%	0.0%	0.0%				
田上町	52.5%	22.6%	8.9%	21.0%	○		18	
阿賀町	98.9%	59.3%	31.6%	8.0%	○		1	
出雲崎町	99.4%	52.9%	36.9%	9.6%				
湯沢町	94.8%	84.9%	0.0%	9.9%				
津南町	97.5%	65.7%	29.9%	1.8%	○			
刈羽村	99.3%	0.0%	24.6%	74.8%				
関川村	97.9%	74.2%	17.4%	6.3%				
粟島浦村	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%				
合計	84.7%	71.5%	7.8%	5.4%	19	6	555	118

※浄化槽整備事業の対象地域、補助金額等は市町村により異なります。
 ※市町村単独で行った整備数は含みません。

持続的な污水处理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル 国土交通省、農林水産省、環境省の3省統一マニュアル 26年1月公表

都道府県構想策定マニュアルの公表

人口減少や厳しい財政事情等を踏まえ、污水处理施設整備の都道府県構想の徹底した見直しを加速させ、より早期の污水处理施設の概成を目指すため、平成24年度より国土交通省、農林水産省、環境省の3省が連携して、統一マニュアルの検討を進めてきました。その結果、平成26年1月30日に、3省統一の「持続的な污水处理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」として公表されました。

3省連名の都道府県構想の見直し推進の通知

3省では、統一マニュアルを踏まえて都道府県構想の早急な見直しを推進するため、同日付けにて「持続的な污水处理システム構築に向けた都道府県構想の見直しの推進について」の通知を、各都道府県担当部長あてに発出したところです。

新潟県においても、現構想の目標年次の平成30年度までに次期構想策定が期待されます。

3省連名の通知（抜粋）は以下のとおりです。

持続的な污水处理システム構築に向けた都道府県構想の見直しの推進について

（略） 今般、人口減少や厳しい財政事情等を踏まえ、都道府県構想の見直しを徹底するとともに、早期の污水处理の概成を目指すため、農林水産省、国土交通省、環境省の3省が連携して設置した「都道府県構想策定マニュアル検討委員会」での審議を踏まえ、3省統一の「持続的な污水处理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」（以下「新マニュアル」という。）を策定したところである。

これまで都道府県構想については、定期的（5年を基本とする）に内容を点検するほか、社会情勢の変化等に合せて適宜見直しを行うようお願いしているところであり、都道府県においては、新マニュアルを踏まえ、アクションプランを含めた都道府県構想の平成26年度以降の早急な見直しを推進するとともに、都道府県構想のもととなる市町村の污水处理施設整備の構想についても新マニュアルを踏まえて見直すよう技術的助言を行うなど貴管内市町村と連携を図られたい。

なお、新マニュアルの趣旨は下記の通りであり、都道府県におかれては貴管内市町村に対してこの旨周知いただくようお願いする。

記

- 1 未整備地区における污水处理の早期概成
 - ・污水处理施設の整備区域の設定にあたっては、各種污水处理施設の有する特性を踏まえ、経済比較を基本としつつ、整備や運営を含め、時間軸等の観点を勘案すること。
 - ・人口減少等を踏まえた各種污水处理施設による整備区域の適切な見直しを行うこと。その上で、今後10年程度を目途に污水处理の概成（地域ニーズ及び周辺環境への影響を踏まえ、各種污水处理施設の整備が概ね完了すること）を目指した各種污水处理施設の整備に関するアクションプランの策定を行うこと。
 - ・アクションプランの策定に際しては、整備に長期間を要する地域については、早期に污水处理が概成可能な手法を導入するなどの弾力的な対応を検討すること。
- 2 既整備地区の効率的な改築・更新及び運営管理 （略）
- 3 その他 （略）

配管革命

アムズ浄化槽

CXN2型

嫌気分離接触ろ床方式

5・7・10人槽

処理性能：BOD20mg/L、T-N20mg/L、SS15mg/L以下

アムズ浄化槽CXN型がモデルチェンジ。
放流管を50mm高くし、施工性が大幅に向上しました。
しかも従来型の特長をそのまま継承、長く安心してご使用いただけます。

流入管底
GL=330mm

放流管底
GL=330mm
(50mmUP)

アムズ株式会社
〒950-0943 新潟市中央区女池神明3-12-8
TEL.025-285-0331 FAX.025-285-2249

(8)

NJSK 浄化槽にいがた 89号

環境省 平成27年度浄化槽推進関係予算（案）の概要

環境省から、1月14日に閣議決定された政府予算（案）のうち、浄化槽推進関係予算（案）の概要が公表されました。

循環型社会形成推進交付金（浄化槽分）は、8,421百万円で、平成26年度の予算と同額となっています。

また、新規事業として「浄化槽情報基盤整備支援事

業」が創設されました。これは、浄化槽台帳システムを都道府県が整備する際、事業の一部費用を国庫助成するものです。

なお、内閣府の汚水処理施設整備交付金として、430億68百万円が計上されました。

1 健全な水環境に資する浄化槽の整備促進

汚水処理施設の効率的・効果的な整備を図るとともに、循環型社会の形成を推進するため、健全な水環境に資する浄化槽整備の一層の促進に必要な予算を計上

○循環型社会形成推進交付金 8,421百万円

市町村の自主性と創意工夫を活かしながら浄化槽の整備を推進するための予算

浄化槽整備事業の内訳

（単位：百万円）

	平成26年度 予算額	平成27年度 予算額（案）	対前年比 %
循環型社会形成推進交付金 ※別途、東日本大震災復興交付金として復興庁に一括計上	(9,059) 8,421	(9,024) 8,421	(99.6) 100.0

注：上段（ ）は、内閣府〔沖縄〕、国土交通省〔北海道、離島〕計上分を含めた額

※上記の他、内閣府に地域再生基盤強化交付金（汚水処理施設整備交付金）を計上 総額430億68百万円の内数

地域再生計画に基づいて、環境省、農林水産省、国土交通省所管の汚水処理施設を総合的に整備するための予算

2 国の支援措置の充実・強化のための助成制度の見直し

改○ 低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業の継続事業化

3 浄化槽整備等のための支援強化

- 新○ 浄化槽情報基盤整備支援事業費 50百万円
- 浄化槽情報基盤強化推進事業費 16百万円
- し尿処理システム国際普及推進事業費 15百万円

4 その他

- <東日本大震災復興交付金として復興庁計上>
- 低炭素社会対応型浄化槽等集中導入事業

NIKKO
SINCE 1908

「BOD10 標準化宣言」

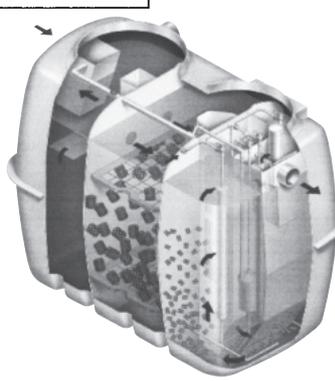
ニッコー小規模浄化槽 浄化王 型

高度処理性能をコンパクト型でついに実現

- ・従来品と比べてもさらに軽量化コンパクト化
- ・ブロウ配管を1本化

放流水質	
BOD	10mg/L 以下
T-N	20mg/L 以下
SS	10mg/L 以下

- ・流入－流出 管底差40mm
- ・放流ポンプ槽一体型もご用意
- ・支柱レス施工可能
(FRP評定取得 車両総重量 2t以下の駐車場)



浄化王

NIKKO BOD10

担体流動生物ろ過循環方式

全浄協登録品

型式	浄化王-5型	浄化王-7型	浄化王-10型
人槽	5	7	10
総容量 (m³)	2.105	2.944	4.226
全長 (mm)	1900	2580	2830
全幅 (mm)	1130		1480
全高 (mm)	1600		
本体質量 (kg)	198	252	340
本体価格 (税込み・円)	577,500	808,500	1,155,000

ニッコー株式会社
http://www.nikko-company.co.jp

住設環境機器事業部 新潟営業所
新潟市中央区親松136-1 TEL 025(283)5010 FAX 025(283)5215

支部活動紹介も、いよいよ終盤にさしかかり、第6回目をむかえました。

今回は、下水道の普及による会員の減少と、合併による影響を受けても頑張っている与板支部と、久しぶりの研修旅行を他支部と連携し実施された十日町支部を紹介致します。



我が与板支部の設立は、昭和54年5月です。

初めの事務所は、与板保健所環境衛生課でしたが、平成5年に与板商工会に移り、9年から会員宅となり、現在に至っております。

この間、平成の大合併に伴い、三島郡の5ヶ町村で組織されていたのが長岡市となり、出雲崎町だけ独立し三島郡として残り、そのまま会員となっております。

会員数もその当時は28社でしたが、下水道工事の普及により浄化槽設置基数も減り、現在は、10社となりました。

年間行事として、県外の研修旅行や先進地の視察など、活発に動いておりましたが、今は、年1回の総会と役員会だけになっています。

会員の皆さんは、親睦をかねての支部総会に出席して、和気あいの懇親会



を楽しんでいただいております。会員同士の結束が固く、仲が良いということでしょうか。この絆がいつまでも続くことを願って活動に取り組んでいきたいと思



十日町支部は、昭和60年に設立され、現在会員数は33社です。

十日町市と津南町の会員から構成されています。

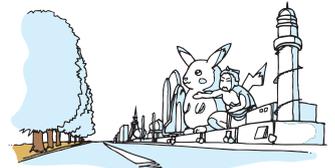
3年前の長野県北部地震の際には、本部の皆様大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

今年度は、9月に十数年ぶりに研修旅行を南魚沼支部にも参加をお願いし、実施する事が出来ました。

首相官邸・国会見学のあと日本科学未来館の企画展「トイレ?行っトイレ!ボクらのうんちと地球のみらい」を見学してきました。

トイレを明るく捉えていて素晴らしい企画でした。

十日町支部も、他支部と同様に、支部運営は厳しい状況ですが、本部との連携を深め、支部会員に有益な情報の提供や、研修会等に取り組んでいき魅力ある支部にしていきたいと考えています。



水質を浄化し、住みよい環境を守る……

し尿浄化槽, コンプラ 放流水 の殺菌消毒に

一回の薬剤充填で長時間にわたり殺菌力を持続します。

溶解にすぐれ、強い殺菌力を示します。

有機系塩素剤 **日曹メルサン**® 無機系塩素剤 **日曹ハイクロン**® 錠剤

消毒の管理 **水処理用滅菌器 WST型**

塩素の測定に **DPD法** 遊離残留塩素測定器

バルキング防除剤 **バルキック**

酵素・微生物製剤 **ミタゲン**

県代理店

株式会社 **バイタルグリーン**

新潟 025-243-5412 長岡 0258-46-7241 上越 025-524-6450

 **日本曹達株式会社**

事務局からのお知らせ

平成26年度浄化槽業務従事者 研修会のお知らせ

浄化槽業務従事者研修会「燕三条会場」及び「上越会場」を次のとおり開催します。詳細につきましては、各支部を通じてご案内しておりますので、お誘いの上、是非ご参加ください。

◆燕三条会場

- 【日 時】平成27年2月17日（火）9：30～15：30
【場 所】燕三条地場産センターメッセピア5階総合研修室
【内 容】①新潟県の浄化槽について
②浄化槽の施工について
③水質測定器の保守点検について
④浄化槽の構造と保守点検・清掃のポイントについて

◆上越会場

- 【日 時】平成27年2月18日（水）13：00～16：00
【場 所】上越文化会館大会議室
【内 容】①上越市の浄化槽整備事業について
②浄化槽工事のポイント及び浄化槽の構造・保守点検・清掃のポイントについて
③水質測定器の保守点検について

平成27年度定時総会の日程のお知らせ

平成27年度定時総会を下記日程で開催します。詳細につきましては、平成27年4月下旬にご案内しますので、会員の皆様の多数のご参加をお願いいたします。

- 【日 時】平成27年5月21日（木）15：00～17：00
【場 所】新潟東映ホテル

※総会終了後、懇親会を開催いたします。

採水員指定講習会のお知らせ

指定採水員の指定講習会（新規・更新）が下記のとおり開催されます。詳細は、追って、新潟県浄化槽法定検査管理協議会から通知されます。

- 【日 時】平成27年2月10日（火）10：00～16：00
【場 所】新潟県庁行政庁舎5階501会議室

平成28年度浄化槽管理士講習の誘致について

当協会では、日本環境整備教育センター主催の「浄化槽管理士講習」を新潟県に誘致・開催することにより、会員の「浄化槽管理士」の国家資格取得を支援することとしました。

第1回目の浄化槽管理士講習は、平成25年9月に、燕三条地場産センターを会場として開催し、県外の11名を含めて95名の受講者がありました。

第2回目については、平成28年9月の開催に向けて、会員の要望をお聞きしながら、主催者である日本環境整備教育センターと協議をしております。

なお、平成27年度については、会員アンケートによる調査結果（受講希望27名、未定12名）では、誘致に必要な人数（60名）を下回るため、誘致要望は行わないこととしました。

アンケートへのご協力に対してお礼申し上げます。

ホームページ移転のお知らせ

当協会（一般社団法人新潟県浄化槽整備協会）のホームページは、都合により2月から別のサーバーに引っ越します。お手数ですが、リンクやブックマークの変更をお願いします。

新しいURLは、下記のとおりです。

<http://www.njsk.server-shared.com/>



編集後記

ソチオリンピック、サッカーワールドカップとスポーツの祭典が続き、年末に衆議院選挙のあった昨年、新潟は12月当初より雪が多く、年末年始も寒波に見舞われた。

今年は戦後70年を迎え、3月には北陸新幹線が開業する。10月にはマイナンバー法により個人番号が通知開始予定である。また、マイクロソフトのWindowsが発売されてから30年、Windows 95からでも20年になるそうだ。

成長戦略の具体化が期待される今年、新潟市も国家戦略に指定されたがどのような経済効果を生み出してくれるのだろうか。